

12月定例会のあしらい

12月定例会は、12月20日から令和5年1月24日までの36日間の会期で開催されました。

初日には、市長所信表明の後、全会一致で人権擁護委員候補者の推薦を適任、工事請負契約の締結及び、令和4年度弥富市一般会計補正予算（第11号）を可決しました。

その他、弥富市職員の定年等に関する条例等の一部改正等について、弥富市いこいの里条例の一部改正について、令和4年度弥富市一般会計補正予算（第12号）はじめ14議案が提案されました。また、「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願が提出されました。

これらを、所管の委員会に付託、審議し、議案は全て原案どおり了承され、請願は不採択としました。

最終日には、提案された14議案を可決し、請願に対しては不採択としました。また、発議3件が提案され、帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書についてを全会一致で可決し、発議第9号、第10号は賛成少数により否決しました。

第3回臨時会



令和4年第3回臨時会が10月25日に開催されました。

た。海部南部水道企業団負担金事務などを含む令和4年度一般会計補正予算（第10号）を審議し、全会一致で可決しました。

本会議初日



議案質疑



弥富市職員の定年に関する条例等の部改正について

問 定数管理と交付税への影響は。

答 中長期的に適正な定数管理に努める。交付税に影響はない。

弥富市いこいの里条例の一部改正について

問 17時以降の利用状況は。なぜ閉館を早めたのか。

答 一般利用の実績がない。効率的な管理をするため。

弥富市議会の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例について

問 期末手当の値上げの根拠は。

答 社会情勢が反映されるもの。

本会議最終日



可決 議案第76,78号に対して

反対 佐藤仁志、那須英二議員

積極的に説明責任が果たされておらず、判断できない。十四山公民館の教室は、まだ使用されている状況なのでもう少し様子見るべき。いこいの里は利活用していくことを考え、利用がないからといって廃止するべきではない。

可決 議案第72,73号に対して

反対 那須英二議員

給与アップが大企業に限られている。公務員の給料は生計費なので物価水準に合わせる必要があるが、特別職は合わせる必要はない。

可決 議案第71号に対して

反対 那須英二議員

定年延長で給料が減らされる根拠がない。新規採用、新卒が減る事実に対面するため賛同できない。

反対 高橋八重典議員

不採択 請願第4号に対して

賛成 佐藤仁志、板倉克典議員

本市におけるフリースクール設立支援の緊急性はない。厚生文教委員会で議論された内容から鑑みても、適応指導教室アクティブが補っていると考え、本市として、今は慎重に見守っていくことが最良と考える。

討論

学校へ行かない子や保護者の心労を考え、衆参議院付帯決議の内容を一刻も早く国へ求める必要がある。アクティブになじめない人も多数いる。フリースクールは月額3万3千円と推計されており、補助があれば誰もが通うことができる。

◆ 請願事項
意見書を採択し、政府・関係省庁へ提出を求める。

「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書

否決 板倉克典議員 賛成

被害者救済は急務で、被害者救済法を更に実効性のあるものにしていく必要がある。国に誠実な対応を行うよう求めている必要がある。

発議第10号
世界平和統一家庭連合との関係を断ち切り被害防止及び救済を求める意見書の提出について

否決 板倉克典議員 賛成

反社会的な組織と政治家が関わることはお墨付きを与え、被害が拡大することにつながる。決議することで被害者の相談しやすい体制が確立し、被害を防ぎやすくなる。

発議第9号
世界平和統一家庭連合旧統教会関連団体等の反社会的団体と線を引き、関係を断ち切る決議について

◆ 意見書の提出
提出先「厚生労働大臣、財務大臣」

意見書の提出